	上木川寸	専門学校	開講年度	令和06年度 (2	- 1 7	授業科目				
科目基	礎情報									
科目番号		0120			科目区分	専門/選択	ξ			
授業形態		講義			単位の種別と単位	数 学修単位:	2			
開設学科		機械工学	 ^丝 科		対象学年	5				
開設期		前期			週時間数	2				
教科書/教		自作テキ			C 3 -320					
担当教員		岩本英								
<u></u>		[1 47 人)								
1.問題 2.ク味 3.意 4.有降 5.故 6.プ 7.信頼 7.信頼	義、問題の タリングラットマーク ・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ ・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ ・ファッション ・ファッション ・ファッション ・ファッション ・ファッション ・ファッション ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	法について理 手法について 手法について 生命手法について 一ル手法につ	情造について理解するよ 理解し,活用できるよ 理解し,活用できるこ 理解し,活用できるこ ひいて理解し,活用で ひいて理解し,活用で は解し,活用できるよ	こうになること 3ようになること 3ようになること ごきるようになるこ ごきるようになるこ	کے					
<u>ルーブ</u>	リック						T			
				理想的な到達レベルの目安		レの目安	未到達レベルの目			
評価項目	1		問題定義、問題の	の分類、問題構造	問題定義、問題の		問題定義、問題の	分類、問題構造		
評価項目	2		クラスタリングミ マトン手法につい , 活用できる	手法や有限オート ハて適切に理解し	について理解できる クラスタリング手 マトン手法につい できる	まや有限オート	について理解して クラスタリングチ マトン手法につい できない	 =法や有限オート		
評価項目3				頭度に関する手法 里解し,活用でき	故障関連樹や信頼原 について理解し, え	度に関する手法 舌用できる	故障関連樹や信頼 について理解し,	度に関する手法 活用できない		
学科の	到達目標	項目との関	 引係							
<u>3 1 2 </u> 教育方		,								
秋 月刀	四寸	5.7-	- / の中容も見た白ノ	法式オスために	サ色 レナンフン・フーノ	の掛け而主 幻り	とは は かん	生は佐田北松十井ナン じ		
システム 概要 を分析して 付いても学			/て設計する。 おもに	の内容を最も良く達成するために、対象となるシステムの構成要素、組織構造、情報の流れ、制御機構など 設計する。おもに、システムのモデリングとその分析に付いて学び、システムの信頼性や最適化の方法論に 習する。						
授業の進	め方・方法	3.息味イ	ットワーク手法につ トートマトン手法につ	いた かいて かいて						
授業の進 注意点	め方・方法	5. 故障隊 6. プロタ 7. 信頼度	(表) いのかない いいかない かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	について について って iを残さないように	講義中は言うに及ば だし,新型コロナウ	ず随時教員のとこ イルスの影響に。	ころに質問に行き, より, 授業内容を一	分からないとこ 部変更する可能		
注意点 授業の	属性・履	5. 政障 6. プロタ 7. 信頼度 分から ろや疑問 性があり	が関係, 人工生命手法 プクションルール手法 Eに関する手法につい がないところや疑問点 対点を無くして次の講)ます。	について について って iを残さないように	だし,新型コロナウ	ず随時教員のとこ イルスの影響に。	tり,授業内容を 	-部変更する可能		
注意点 授業の		5. 政障 6. プロタ 7. 信頼度 分から ろや疑問 性があり	回煙付,人工生命手法 プクションルール手法 Eに関する手法につい のないところや疑問点 可点を無くして次の講 のます。	について について って iを残さないように	講義中は言うに及ばだし,新型コロナウ □ 遠隔授業対応	ず随時教員のとこ イルスの影響に。	tり,授業内容を 	-部変更する可能		
注意点 授 業 の □ アク:	属性・履	5. 政障 6. プロタ 7. 信頼度 分から ろや疑問 性があり	が関係, 人工生命手法 プクションルール手法 Eに関する手法につい がないところや疑問点 対点を無くして次の講)ます。	について について って iを残さないように	だし,新型コロナウ	ず随時教員のとこ イルスの影響に。	tり,授業内容を 	分からないとこ 部変更する可能 る教員による授業		
注意点 授 業 の □ アク:	属性・履	5. 政障 6. プロタ 7. 信頼度 分から ろや疑問 性があり	が関係, 人工生命手法 プクションルール手法 Eに関する手法につい がないところや疑問点 対点を無くして次の講)ます。	について について って iを残さないように	だし,新型コロナウ	ず随時教員のとるイルスの影響によ	、授業内容を−	-部変更する可能		
注意点 授 業 の □ アク:	属性・履	5. 政障隊 6. プロダ 7. 信頼 分から ろや疑問性があり 性があり	i理樹, 人工生命手法 プクションルール手法 Eに関する手法につい がないところや疑問点 対点を無くして次の講)ます。 }	について について って (を残さないように 義に望むこと。た	だし,新型コロナウ	イルスの影響によ	、授業内容を−	部変更する可能 る教員による授業		
注意点 授 業 の	属性・履	5. 双 ^向 以 6. プロタ 7. 信頼から 3. サング 性かの区グ 上ング	回側, 人工生命手法 プクションルール手法 に関する手法につい らないところや疑問点 点点を無くして次の講 ごます。	について について って を残さないように 義に望むこと。た	だし,新型コロナウ ② 遠隔授業対応 遊 。	イルスの影響に。 ごとの到達目標 マステム工学の概	、授業内容を−	部変更する可能 る教員による授業 きる		
注意点 授 業 の	属性・履	5. 改障は 6. プロウタ 7. 信分から 7. 信分から 20 性があり 8 上の区ケ ニング 週 1週 2週	は関係, 人工生命手法 アクションルール手法 に関する手法につい がないところや疑問点 点点を無くして次の講 ます。	について について で で で きを残さないように き で で で で で で で で で で で で で で で で で で	だし,新型コロナウ ② 遠隔授業対応 過 ジ ま和 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『	イルスの影響に。 ごとの到達目標 ステム工学の概 ステムの問題定 題の構造,スキ	より,授業内容を一□ 実務経験のあ要について理解でき	部変更する可能 る教員による授業 きる Dいて理解できる		
注意点 授業の □ アク:	属性・履	5. 改障	は関係、人工生命手法にプクションルール手法に関する手法についた。 はないところや疑問点 はな無くして次の講 はを無くして次の講 はを無くして次の講 をます。 □ ICT 利用 授業内容 システム工学の概要 システムの問題定義 問題の構造、スキー	について について で で で きを残さないように き で で で で で で で で で で で で で で で で で で	だし,新型コロナウ ② 遠隔授業対応 ③ ⑤ ⑤ ⑤ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	ごとの到達目標 -ステム工学の概: -ステムの問題定: 題の構造,スキ	はり、授業内容を一 □ 実務経験のあ 要について理解でき 義と問題の分類にユ ーマ、グラフによる	部変更する可能 る教員による授業 きる Oいて理解できる る表現について理		
注意点 授 業 の	属性・履	5. 改障	回側, 人工生命手法 プクションルール手法 に関する手法につい おいところや疑問点 はを無くして次の講 ます。 □ ICT 利用 授業内容 システム工学の概要 システムの問題定義 問題の構造, スキー クラスタリング	について について で で で きを残さないように き で で で で で で で で で で で で で で で で で で	だし,新型コロナウ ② 遠隔授業対応 ジ 表現 間 だし, が が が が が を が を を を を を を を を を を を を を	イルスの影響に。 マステム工学の概 マステムの問題定 関の構造,スキ できる ラスタリングに	は、授業内容を一は、実務経験のあります。では、ま務経験のあります。では、またります。では、おります。では、おります。では、またります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、おります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またります。では、またりますり。では、またりますります。では、またりますります。では、またりますります。では、またりますりますります。では、またりますりますりますります。では、またりますりますりますりますりますりますりますりますりますりますりますりますりますり	部変更する可能 る教員による授業 きる ついて理解できる 3表現について理		
注意点 授 業 の	属性・履ティブラー	5. 改障	□理例, 人工生命手法 □型付ションルール手法 に関する手法につい に関する手法につい にないところや疑問点 点を無くして次の講 コミす。 □ ICT 利用 「授業内容 システム工学の概要 システムの問題定義 問題の構造, スキー クラスタリング 意味ネットワーク	について について で で で きを残さないように き で で で で で で で で で で で で で で で で で で	だし,新型コロナウ 図 遠隔授業対応	イルスの影響に。 イルスの到達目標 イステム工学の概 イステムの問題定 関の構造,スキ できる プラスタリングに 味ネットワーク	はり、授業内容を一 □ 実務経験のあ 要について理解でき 義と問題の分類にな ーマ、グラフによる ついて理解し、活所 について理解し、活所	部変更する可能 る教員による授業 きる ついて理解できる る表現について理 用できる 舌用できる		
注意点 授業の □ アク:	属性・履ティブラー	5. 可能	回側, 人工生命手法 プクションルール手法 に関する手法につい おいところや疑問点 はを無くして次の講 ます。 □ ICT 利用 授業内容 システム工学の概要 システムの問題定義 問題の構造, スキー クラスタリング	について について で で で きを残さないように き で で で で で で で で で で で で で で で で で で	だし,新型コロナウ ② 遠隔授業対応 ジ シ 表現 の 点 の 点 の 点 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の 。 の に の 。 の に の 。 の に の 。 の に の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の の の の の 。 の の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	でとの到達目標 マテム工学の概 マテムの問題定 関の構造、スキ できる プラスタリングに 味ネットワーク 工生命について	はり、授業内容を一 実務経験のあ 要について理解でき 義と問題の分類につ ーマ、グラフによる ついて理解し、活所 について理解し、活 理解し、活用できる	部変更する可能		
注意点 授業の □ アク:	属性・履ティブラー	5. 改障	□理例, 人工生命手法 □型付ションルール手法 に関する手法につい に関する手法につい にないところや疑問点 点を無くして次の講 コミす。 □ ICT 利用 「授業内容 システム工学の概要 システムの問題定義 問題の構造, スキー クラスタリング 意味ネットワーク	について について で で で きを残さないように ま で き で き で で で で で で で で で で で で で で で	だし,新型コロナウ ② 遠隔授業対応 ジ シ 表現 の 点 の 点 の 点 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の 。 の に の 。 の に の 。 の に の 。 の に の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の の の の の 。 の の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	でとの到達目標 マテム工学の概 マテムの問題定 関の構造、スキ できる プラスタリングに 味ネットワーク 工生命について	はり、授業内容を一 □ 実務経験のあ 要について理解でき 義と問題の分類にな ーマ、グラフによる ついて理解し、活所 について理解し、活所	部変更する可能		
注意点 授業の アクラ	属性・履ティブラー	5. 可能	は関係、人工生命手法に関するリンルール手法に関する手法についるないところや疑問点点を無います。 ICT 利用 「EXTENSION TO THE TEST TO THE T	について について で で残さないように 養に望むこと。た と問題の分類 ーマ,グラフによる	だし,新型コロナウ ② 遠隔授業対応 返 シ 表現 だ が を を を を を を を を を を を を を	イルスの影響によれている。 でとの到達目標 ・ステム工学の概 ・ステムの問題定 ・題の構造,スキ ・できる ・ラスタリングに ・味ネットワーク ・工生命について ・限オートマトン	はり、授業内容を一 実務経験のあ 要について理解でき 義と問題の分類につ ーマ、グラフによる ついて理解し、活所 について理解し、活 理解し、活用できる	部変更する可能 る教員による授業 きる ついて理解できる 3表現について理 用できる 5用できる 5用できる 5円できる		
注意点 授業の □ アクラ 授業計	属性・履ティブラー	5. 可能	は関係, 人工生命手法 (アクションルールランルール (アクションルールランルールランルール (アクションルールランルールランルール (アクションルールールールールールールールールールールールールールールールールールールー	について について って を残さないように 義に望むこと。た と問題の分類 -マ,グラフによる	だし,新型コロナウ ② 遠隔授業対応 返 表現 表現 を を を を を を を を を を を を を	イルスの影響に。 でとの到達目標 ・ステム工学の概 ・ステムの問題定 ・関の構造,スキ ・ラスタリングに ・味ネットワーク ・工生命について ・限オートマトン ・限オートマトン	はり、授業内容を一 実務経験のあ 要について理解できる。 義と問題の分類にユーマ、グラフによる。 ついて理解し、活用できる。 について理解し、活用できる。 について理解し、活用できる。	部変更する可能 る教員による授業 きる ついて理解できる る表現について理 用できる 舌用できる 舌用できる 舌用できる 舌用できる		
注意点 授業の アクラ	属性・履ティブラー	5.0 元	回側, 人工生命手法に	について について って を残さないように 養に望むこと。た と問題の分類 ーマ,グラフによる	だし,新型コロナウ ② 遠隔授業対応 過 ま ま よ よ よ よ よ よ よ よ	できる (ステム工学の概 (ステム工学の概 (ステムの問題定 (関の構造, スキー (ラスタリングに (味ネットワーク (エ生命について) (限オートマトン (限オートマトン (アラスタリングに)	はり、授業内容を一 □ 実務経験のあ 要について理解できる。 義と問題の分類にユーマ、グラフによる ついて理解し、活用できる。 について理解し、流 について理解し、流 について理解し、流 について理解し、流	部変更する可能 る教員による授業 きる ついて理解できる る表現について理 用できる 舌用できる 舌用できる 舌用できる 舌用できる に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対す		
注意点 授業の アクラ	属性・履ティブラー	5.0プーク 7.信分やが 区グークやが 区グークやが 国週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	□理樹, 人工生命手法 「クラョンチュールー」 に関するころして次の はなを無います。 □ ICT 利用 一 ICT 利用 一 ICT 利用 一 「 ICT 利用 「 ICT NA	について について でででします。 でを残さないように ででできます。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できます。 こらこ。 こっと。 こうと。 こうと。 こうと。 こうと。 こうと。 こうと。 こうと。 こう	だし,新型コロナウ 返 遠隔授業対応 シ 表現 を を を を を を を を を を を を を	イルスの影響による イルスの影響による イステム工学の概 イステムの問題定 である プラスタリングに 味ネットワーク 工生命について ではオートマトン ではオートマトン ではオートマトン ではアンションル	はり、授業内容を一 □ 実務経験のあ 要について理解できる。 養と問題の分類にでででででででででででででででででででででででででででである。 について理解し、活用できる。 について理解し、活について理解し、活について理解し、活について理解し、活用できる。	部変更する可能		
注意点 授業の □ アクラ 授業計	属性・履 ティブラー 画 1stQ	5.0万 5.0万 7.信分やが 区グ 3性の 区グ 過 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	は関 の は の は の は の は の は の は の は の は の は の	について について でで でを残さないように で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	だし,新型コロナウ ② 遠隔授業対応 歩 ま現 ま現 た た た た た た た た	イルスの影響による でとの到達目標 でえテム工学の概 できる。 ラスタリングに 味ネットワーク 工生命について ではオートマトン ではオートマトン ではオートマトン ではオートマトン ではオートマトン ではオートマトン ではオートマトン ではオートマトン ではオートマトン	まり、授業内容を一 実務経験のあ 要について理解でき きと問題の分類につ ーマ、グラフによる ついて理解し、活 について理解し、活 について理解し、活 について理解し、活 について理解し、活 について理解し、活 について理解し、活	部変更する可能		
注意点 授業の □ アクラ 授業計	属性・履ティブラー	Sign Sign	は関係、人工生命は はのは、大工学の関係を はないと無いながある。 はないを無いながある。 はないを無いながある。 はないを無いながある。 はないを無いながある。 はないを無いながある。 はないを無いながある。 はないを無いながある。 はないを無いながある。 はないを無いながある。 はないを無いながある。 はないでは、はないではないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないではないでは、はないではないでは、はないではないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないではないではないでは、はないではないでは、はないではないではないではないでは、はないではないではないではないでは、はないではないではないではないでは、はないではないではないではないでは、はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	について について って を残さないように 養に望むこと。た を きと問題の分類 -マ,グラフによる ウール 1 2	だし,新型コロナウ 遠隔授業対応	イルスの影響による でとの到達目標 マテムエ学の概 できる できる できる できる できる できる では、スキ できる では、スキ では、スキ では、スキ では、スキ できる では、スキ では、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、	はり、授業内容を一 実務経験のあ 要について理解できると問題の分類にで 一マ、グラフによる ついて理解し、活 について理解し、活 について理解し、 について理解し、 について理解し、 について理解し、 について理解し、 について理解し、 について理解し、 について理解し、 について理解し、 について理解し、 について理解し、 について理解し、 について理解し、	部変更する可能		
注意点 授業の	属性・履 ティブラー 画 1stQ	Sign Sign	は関係, 人工生命手法 が関するションチンに に関するころで次のの はないところので次のの はなを無います。	について について ででできないように ででできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできるできるできる。 できるできるできるできるできるできるできない。 できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	だし,新型コロナウ 返 遠隔授業対応 退 表現 を を を を を を を を を を を を を	イルスの影響によれているのができる。 マテムエ学の概念できる。 マラスタリングにでいる。 できる。 マラスタリングにでいる。 できる。 マラスタリングにでいる。 では、スキットワーク。 エ生命についてでは、 ではオートマトンでは、 では、ファンのに関連樹(FTA)では、 では、アムの信頼度	はり、授業内容を一 要について理解できると問題の分類にでして理解し、活所について理解し、活用できるについて理解し、活理をしてででではし、活性について理解し、活力について理解し、だけについて理解し、だけについて理解し、について理解していては、	- 部変更する可能 - 高教員による授業 - 含教員による授業 - さる - ついて理解できる - 3表現について理 - 引できる - 舌用できる - 舌用できる - 舌用できる -		
注意点 授業の □ アクラ 授業計	属性・履 ティブラー 画 1stQ	Sign	□ 単樹, 人工生命 手法法に関すること	について について ででできないように ででできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできないように できるできるできるできる。 できるできるできるできるできるできるできない。 できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	だし,新型コロナウ ② 遠隔授業対応	イルスの影響によれているの引達目標でよった工学の概できる。 ラスタリングには、スキットワークででは、アートマトンでは、アートマトンででは、アーラルネットでは、アーラルネットでは、アーラルをは、アークを関連樹(FTA)では、アークの信頼度で、ステムの信頼度で、ステムの信頼度で、ステムの信頼度で、アークをは、アークをは、アークをは、アークを関連をは、アークを関連をは、アークを表している。	はり、授業内容を一 とり、授業内容を一 要について理解できる。 、を問題の分類にでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	- 部変更する可能 - 高教員による授業 - 含教員による授業 - さる - ついて理解できる - 3表現について理 - 引できる - 舌用できる - 舌用できる - 舌用できる -		
注意点 授業の □ アクラ 授業計	属性・履 ティブラー 画 1stQ	Sign Sign	は関するとは、	について について って を残さないように 養に望むこと。た をと問題の分類 ーマ,グラフによる フーク ール 1 2	だし、新型コロナウ	イルスの影響による ごとの到達目標 ステム工学の概 ステムの問題定 関の構造,スキ できる ラスタリングに は、ステムのについて ではネットワーク 工生命について ではオートマトン にはオートマトン にはオートマトン では関連樹(FTA) に関連樹(FTA) には、ステムの信頼度 では、ステムの信頼度 のの以上の評価	では、授業内容を一世のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	部変更する可能		
注意点 授 アク: 授 業計 前期	属性・履 ディブラー: 画 1stQ	Sign Sign	理例, 大工学の () () () () () () () () () (について について ででである。 ででできないように ででできないように できないように できないように できないように できないように できないように できないように できないように できないように できないように できないように できないように できないように できないように できると できないように できると できると できると できると できると できると できると できると	だし、新型コロナウ	イルスの影響によれているの引達目標でよった工学の概できる。 ラスタリングには、スキットワークででは、アートマトンでは、アートマトンででは、アーラルネットでは、アーラルネットでは、アーラルをは、アークを関連樹(FTA)では、アークの信頼度で、ステムの信頼度で、ステムの信頼度で、ステムの信頼度で、アークをは、アークをは、アークをは、アークを関連をは、アークを関連をは、アークを表している。	では、	部変更する可能		
注意点 授 アクラ	属性・履 ティブラー 画 1stQ	Sign Sign	理例, 大工学の () () () () () () () () () (について について でででします。 でを残さないように ででできます。 ででできます。 でできます。 でできます。 ででできます。 できまます。 できます。 ときまさ。 ときます。 ときます。 ときます。 ときま ときまさ。 ときまさ。 ときま と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	だし、新型コロナウ	イルスの影響による ごとの到達目標 ステム工学の概 ステムの問題定 関の構造,スキ できる ラスタリングに は、ステムのについて ではネットワーク 工生命について ではオートマトン にはオートマトン にはオートマトン では関連樹(FTA) に関連樹(FTA) には、ステムの信頼度 では、ステムの信頼度 のの以上の評価	では、	部変更する可能		
注意点 授 アクラ	属性・履 ディブラー: 画 1stQ	Sign Sign	##耐, ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	について について でででします。 ででできないように ででできないように できるとのか類 ・マ, グラフによる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	だし、新型コロナウ 遠隔授業対応	イルスの影響によれているの でとの到達目標 ・ステム工学の概 ・ステムの問題定 ・現の構造,スキ ・ラスタリングに ・味ネットワーク ・工生命について ・では、アートマトン ・ロダクションル にでは、「PTA」 で関連樹(FTA」 ・ステムの信頼度 ・ステムの信頼度 ・ステムのにでいて ・ステムの信頼度 ・ステムのにでは、アース・ステムのには、アース・	はり、授業内容を一 要について理解でき 義と問題の分類にでしてででででででででででででででででででででででででででででででででででで	- 部変更する可能 - 部変更する可能 - 高教員による授業 - 高教員による授業 - 高教員による授業 - 高表現について理 - まる - 高用できる - 高用できる - 高用できる - 活用できる - 活用できる - 活用できる - 活用できる - 活用できる - 活用できる - ボル 授業週		
注意点 授 アクラ 業 計 が 形 が アクラ アクラ アクラ アクラ アクラ アクラ アクラ アクラ アクラ アクラ	属性・履 ディブラー 画 1stQ 2ndQ	Sign of the control of the contr	理例, 1年的	について について でででします。 でを残さないように ででできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 できまます。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき	だし,新型コロナウ 遠隔授業対応 遠	イルスの影響によれているのでは、ステム工学の概で、ステム工学の概でできる。 「ステムの問題定でできる。 「ステムのにできる。」 「はネットワーク、工生命についてではオートマトンにはオートマトンにはオートマトンには、アークの信頼をできる。」 「で関連樹(FTA)には、ステムの信頼度ののいよの評価にいなり、不足部にいる。	でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	- 部変更する可能 - 部変更する可能 - 高教員による授業 - きる - ついて理 - まる - ま現について理 - まる - ま用できる - ま月できる - ま月で		
注意点 授 アク:	属性・履 ティブラー 画 1stQ 2ndQ コアカリ 合 割合 8	Sign of the control of the contr	##耐, ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	について について でででします。 ででできないように ででできないように できるとのか類 ・マ, グラフによる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	だし,新型コロナウ	イルスの影響によれているの でとの到達目標 ・ステム工学の概 ・ステムの問題定 ・現の構造,スキ ・ラスタリングに ・味ネットワーク ・工生命について ・では、アートマトン ・ロダクションル にでは、「PTA」 で関連樹(FTA」 ・ステムの信頼度 ・ステムの信頼度 ・ステムのにでいて ・ステムの信頼度 ・ステムのにでは、アース・ステムのには、アース・	はり、授業内容を一 要について理解でき 義と問題の分類にでしてででででででででででででででででででででででででででででででででででで	- 部変更する可能 - 部変更する可能 - 高教員による授業 - 高教員による授業 - 高教員による授業 - 高表現について理 - まる - 高用できる - 高用できる - 高用できる - 活用できる - 活用できる - 活用できる - 活用できる - 活用できる - 活用できる - ボル 授業週		

専門的能力	80	0	0	0	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0